

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス イルカ		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		～ R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		～ R6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラムの充実 ・毎朝ミーティングを実施し、職員間で話し合う機会を確保している。職員間のコミュニケーションを図りやすくして、同じ方向を持って療育できるようにしている	お子様の発達や、その日の利用人数・活動に合わせてプログラムを作成し、子どもたちが落ち着ける環境作りを意識しています。	更に充実を図り、継続するために子ども達一人一人の発達段階を日々観察しつつ、毎日の職員会議にて情報共有、更新をしていきます。
2	・専門的な講師が来てプログラムを実施・指導してくれる(第三者介入) ・面談を行って、個別支援計画の説明をしっかりと行っている ・ご家族に子どもたちの様子をしっかりと伝え、必要な情報	・職員一人ひとりの知識と技術向上を図るため。外部研修も積極的に参加している ・管理者・児童発達支援管理責任者と現場職員でご家族との話は共有するようにし、現場職員からの気付きからも、管理者・児童発達支援管理責任者が保護者対応に向かえる体制作りをしている	外部講師や療育担当より、意見や発見を共有しながら、専門的かつ発展的な療育内容を保っています ・今後もしっかりとコミュニケーションを取り、全員で統一した支援を行っていきます
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・より広いスペースがあれば良いと感じる ・庭などないので外での活動が少ない	近くに公園があり利用している。また体を動かして大きなスペースを利用する時は、レンタルスペースを利用している。	機会を設けながら、外部へ出ていくことを視野に入れ継続的に検討していきます
2	・地域との交流がすくない	・感染症等で、お相手の方にも受け入れしてくれるところが少ない	・今後、地域と話し合いながら時期を見ていきたいとおもいます
3			